

科目名	栄養指導論（卒業必修：栄養士必修：NR・SA必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 後期	単位数	2
担当教員	鈴木 秀子		
内容および計画	<p>栄養教育・指導（以下、「栄養教育」）は、人々の生活の質（QOL：quality of life）と日常生活動作（ADL：activities of daily living）の向上を目的として、教育的手段を用いて、人々の望ましい食行動の実践と習慣化を支援するために、働きかけることである。</p> <p>本講義では、人々の望ましい食行動の実践と習慣化を支援するために必要な栄養教育の理論や実践方法を学ぶ。また、ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育及び傷病者の栄養教育の実際について学ぶ。</p>		
1	<p>ガイダンス</p> <p>栄養士が行う栄養教育の意義や目的を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育の概念 ・栄養教育の目的、目標、健康教育における位置づけ、わが国の栄養問題、栄養教育の対象と機会等 		
2	<p>日本人の食事摂取基準（2020年版）の基本的考え方（策定方針、指標の種類と概要等）を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の食事摂取基準（2020年版）の基本的考え方（策定方針、指標の種類と概要等） 		
3	<p>日本人の食事摂取基準（2020年版）の活用の基本的考え方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の食事摂取基準（2020年版）の活用の基本的考え方 		
4	<p>行動科学を中心とした代表的な理論・モデル・概念とその必要性を理解し、栄養教育での応用の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の態度と行動変容に関する理論 ・個人間の態度と行動変容に関する理論 ・集団や社会の行動変容に関する理論 等 		
5	<p>行動科学を中心とした代表的な理論・モデル・概念とその必要性を理解し、栄養教育での応用の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル ・行動変容技法や栄養カウンセリングで活用する行動カウンセリングの基礎的技法 		
6	<p>行動科学を中心とした代表的な理論・モデル・概念とその必要性を理解し、栄養教育での応用の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織づくり、地域づくりへと発展する栄養教育 ・食環境づくりにおける栄養教育 		
7	<p>栄養管理の概念と目的を理解し、栄養の専門職として栄養管理を遂行するための基本的事項を理解する。</p> <p><栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）の概念、必要性や手順 ・栄養スクリーニングと栄養アセスメントの方法、栄養診断の概要 		
8	<p>栄養管理の概念と目的を理解し、栄養の専門職として栄養管理を遂行するための基本的事項を理解する。</p> <p><栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養介入（計画）：目標設定、栄養教育計画書（全体計画・カリキュラム・学習指導案）の作成 		
9	<p>栄養管理の概念と目的を理解し、栄養の専門職として栄養管理を遂行するための基本的事項を理解する。</p> <p><栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養介入（計画）：教材の選択と作成、学習形態の選択 ・栄養教育プログラムの実施 		
10	<p>栄養管理の概念と目的を理解し、栄養の専門職として栄養管理を遂行するための基本的事項を理解する。</p> <p><栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育の評価の目的及び評価の種類 ・栄養教育の見直し・改善 		
11	<p>ライフステージや身体・精神的状況、価値観、社会的背景等の特徴を理解し、栄養ケアプロセスに基づいた栄養教育について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実際（妊娠授乳期、乳幼児期） 		
12	<p>ライフステージや身体・精神的状況、価値観、社会的背景等の特徴を理解し、栄養ケアプロセスに基づいた栄養教育について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実際（学童、思春期、高齢期、他） 		

13	ライフステージや身体・精神的状況、価値観、社会的背景等の特徴を理解し、栄養ケアプロセスに基づいた栄養教育について学ぶ。 ・スポーツ実施時、スーパーマーケット等大型店及び地域社会における栄養教育の実際
14	傷病者の食事の管理を中心とした栄養管理の実現のために、対象者の身体状況、栄養状態、価値観、社会経済状況等を総合的・全人的に理解した上での、栄養ケアプロセスに基づいた栄養教育の実際について学ぶ。 ・傷病者の栄養教育の実際（循環器疾患）
15	傷病者の食事の管理を中心とした栄養管理の実現のために、対象者の身体状況、栄養状態、価値観、社会経済状況等を総合的・全人的に理解した上での、栄養ケアプロセスに基づいた栄養教育の実際について学ぶ。 ・傷病者の栄養教育の実際（栄養代謝疾患）

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『新版 ヘルス 21 栄養教育・栄養指導論』	辻とみ子・堀田千津子 編	医歯薬出版株式会社	9784263707180	2021
日本人の食事摂取基準（2020年版）	伊藤貞嘉・佐々木敏 監修	第一出版株式会社	9784804114088	2020

参考書

1. 日本糖尿病学会編・著「糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版」日本糖尿病協会・文光堂
2. 木戸康博・中村丁次・寺本房子編・栄養管理プロセス研究会「改訂新版 栄養管理プロセス」第1出版株式会社
3. 井川聡子・斎藤トシ子・廣田直子編著「実践に役立つ栄養指導事例集」理工図書

成績評価

評価方法	割合(%)
筆記試験	70
課題（リアクションペーパーを含む）	30

学習到達目標

- 栄養教育・指導の基本的理論と技術の習得
1. 栄養教育の概念について説明できる
 2. 栄養教育のための理論的基礎について説明できる
 - (1) 日本人の食事摂取基準
 - (2) 行動科学の理論
 - (3) 行動変容技法と栄養カウンセリング
 3. 栄養ケアプロセスの手順を説明できる
 4. ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の計画が作成できる
 5. 傷病者に対する栄養ケアプロセスの各段階を関連づけて解釈できる。

先修条件

コミュニケーション学、栄養指導論演習、栄養情報処理（応用）を履修することが望ましい。

実務経験

実務経験あり：福島県の栄養技師として、総合病院、保健所に17年間勤務した。
病院では傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導をはじめ栄養管理や給食管理業務、保健所では地域の健康政策の企画・立案とそれに基づく健康づくり事業、乳幼児等の栄養相談、特定給食施設の指導や支援業務及び地区組織育成に従事した。
この経験をもとに、食生活論、栄養指導論、栄養指導論演習、栄養指導論実習、公衆栄養学概論について教授する。

その他

課題は、授業内容の要約を記入してください。復習の一助として活用できます。
リアクションペーパーは、講義に対する感想、意見や疑問等も記入してください。次回の授業に反映させます。
また、必ず、予習、復習を行なうようにしましょう。